

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



第51(冬休み)号

草木染め顛末記 No.1 12月23日、27日の両日に渡り草木染めを行いました。まず23日は東中の校内で材料集めを行いました。伸び放題のビワとヤマモモの枝を間伐し、余分な葉や枝を採取しました。さらに、技術員の竹川さんよりウメとサクラの伐採枝も頂きました。また、各参加者が自宅よりタマネギの皮を持ち寄り材料の確保を終えました。続く27日はいよいよ染めの本番です。全員、初心者で草木染めは未経験です。果たしてどうなりますやら。今回の通信では、この染めの様子を中心に紹介してみたいと思います。

草木染めとは…

草木染めは文字通り、草木が本来持っている色素で繊維を染める染色法です。葉や枝などを煮出した色素で染めるわけですが、そのままでは色素が繊維に定着しにくい為、色素と繊維を結びつける接着剤として「媒染剤」を用います。材料を煮出した染め液に繊維を浸したあとで、色素の付いた繊維を媒染液につけて色を定着させ染め上げる訳です。今回は媒染剤としてミョウバンと銅を用いました。

染色の作業風景

それでは、今回の様子を手順に従って紹介していきます。



色を出すため葉を刻みます



材料をよく煮込みます



煮上がりです



毛糸もぬるま湯に浸します



染色液をくぐらせます



染色液につけておきます



右側が媒染液です



媒染液に浸しておきます



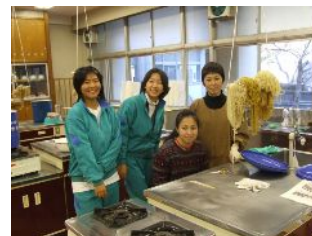
媒染後に水洗いをします



乾燥させていきます



微妙な違いが出ました



やっと染め終わりです

12月31日大晦日・仕上げ日の入り?

毎年、「初日の出」はたくさんの方が注目する行事です。それならば、1年の締めくくりを飾る「日の入り」があっても良いかなと、ちょっと天の邪鬼^{あまのじゃく}になって、こんな写真を撮ってみました……。自宅の部屋からなので、風光明媚という訳にはいきませんが。さて、大晦日の「日の入り」ですが、何か当てはまる都合の良い言葉があるのでしょうか。

